

令和5年度 国際ビジネス支援講座 カリキュラム

Ⅰ. 貿易取引＜基礎＞コース	
開催日時	令和5年10月30日(月) 9:30～17:00
会 場	松山商工会議所 4階 第二会議室
本セミナーで学べるポイント	貿易取引に関する基本用語から仕組み、輸出入取引の流れ、および費用、輸送、通関、代金決済、金融に至る基礎的な知識をわかりやすく習得することができます。
受講対象者	貿易実務の初心者

Ⅱ. 貿易取引＜輸出入実務者＞コース	
開催日時	令和5年11月2日(木) 9:30～16:50
会 場	松山商工会議所 4階 第二会議室
本セミナーで学べるポイント	地域商社、フォワーダー、貿易保険、知財支援に従事されている方から、輸出・入取引における海外の取引先開拓、物流、通関、貿易保険によるリスクヘッジや海外展開における知財戦略といった実務的な知識を得ることができます。
受講対象者	貿易実務担当者、管理者

Ⅲ. 貿易取引＜海外営業実践＞コース	
開催日時	令和5年11月8日(水) 9:30～16:00
会 場	松山商工会議所 5階 大ホール
本セミナーで学べるポイント	・海外取引の知識を拡げます ・貿易実務の基本知識を事例をととして実践力を高めます。 貿易実務の基礎を復習した後に、輸出実践として海外営業のポイントを事例をととして学びます。 また、輸入実践として海外調達のコツを学んだ後、海外取引上の販売店・代理店や三国間(仲介貿易)の基本とトラブル解決の基本を習得します。
受講対象者	貿易実務担当者、管理者、経営者

Ⅳ. 海外取引＜海外展開支援＞コース	
開催日時	令和5年11月15日(水) 9:30～16:20
会 場	松山商工会議所 4階 第二会議室
本セミナーで学べるポイント	・支援機関の海外事業支援策が学べます。 ・EPA・FTAを活用するための知識が得られます。 EPA・FTAの基礎を学んだあと、具体的にどのように活用できるのか、事例を交えながら学習します。 また、各種機関の海外展開支援施策について、自社で活用できるサービスがないか、確認することができます。
受講対象者	貿易実務担当者、管理者、経営者

講 師：(株)グローバル・ビズ・ゲート 代表取締役 池田 隆行 氏	
第1講座 9:30～10:50	◆貿易取引の仕組と基礎知識 ・貿易取引の流れ ・海外取引には一定のルールがある ・取引申し込みから契約締結まで ・貿易運送の主な手段
第2講座 11:00～12:00	◆取引契約で決めること ・貨物保険による運送リスクの回避 ・価格の決め方(建値)～インコタームズ- ・決済条件と代金回収は表裏一体
第3講座 13:00～14:50	◆貿易書類を理解する ・船積書類と通関書類 ・主な貿易書類 ◆貿易運送と通関 ・運送と通関手続きの手配 ・船積み/荷降しの流れ ・通関手続きの仕組み
第4講座 15:00～17:00	◆決済と金融 ・貿易代金決済 ・適用為替相場と為替変動リスクの回避 ◆日本の関税制度 ・関税制度の仕組み

講 師：愛媛エフ・エー・ゼット(株) アイロット事業部 国際営業課 リーダー 鳥生 佳代 氏	
第1講座 9:30～10:45	◆取引先開拓と各種規制への対応 ・市場調査、取引相手の具体的発掘方法 ・相手方信用調査と選定 ・輸出入に関する規制の確認と対応 ・HSコードと輸入国の関税率調査方法
第2講座 10:45～12:00	◆取引成約に向けた取組 ・インコタームズ(費用と危険負担)留意点 ・コスト構造と取引価格の決定 ・決済方法の決定 ・取引交渉に際しての留意点
講 師：郵船ロジスティクス中国(株) 四国支店 愛媛駐在事務所 大原 幸男 氏 西日本営業部 開発課 通関サポートチーム 土屋 公一 氏	
第3講座 13:00～14:30	◆フォワーダーについて ・フォワーダーとは ・フォワーダーの仕事内容 ・輸入事後調査とは ◆各輸送モード(陸・海・空)の特徴 ◆海上輸送と航空輸送 ・船と航空機の比較 ・海上輸送について ・航空輸送について ◆税関への適正申告のための関税評価
講 師：(株)日本貿易保険 執行役員 中小企業支援全般統括兼大阪支店長 村木 正大 大阪支店 調査役 三島 雅幸	
第4講座 14:40～15:40	◆海外との取引にかかるリスクについて 1. 取引の種類 輸出、輸入、海外投資 2. 様々なリスク ・カントリーリスク ・バイヤーの信用リスク 3. 貿易保険を利用したリスクヘッジ
講 師：INPIT愛媛県知財総合支援窓口 相談対応者 白 石 博 昭 氏	
第5講座 15:50～16:50	◆海外進出と知財リスク 1. 海外ビジネスにおける知的財産のポイント 2. 海外展開における知財支援策 3. 海外展開知財支援窓口

講 師：中矢一虎法務事務所(司法書士 行政書士) 代表 中矢 一虎 氏 ※講師はオンライン	
第1講座 9:30～12:30	◆海外の新規顧客開拓と貿易実務知識 1. 海外オンライン商談会・展示会の利用 ・オンラインとリアルの違いを理解 ・オンラインを上手く利用する方法 ・オンライン商談会・展示会の探し方 2. 貿易マーケティング3条件とは何か 3. 日本の輸出通関システム 4. 輸出契約基本5条件 5. 貿易条件・インコタームズ2020の基本規定 6. 輸出代金(後払い/後受け)回収リスクの回避方法 7. 国際電子商取引を利用した海外営業 ◆[事例]輸出実践 ・売主と買主の取引開始前の状況分析 ・輸出見積り(Quotation/Estimate)の考え方 ・売主側の輸出価格の検討と見積り準備 ・買主側の輸入採算等の分析と仕入先変更準備 ・売主・買主による交渉の実施
第2講座 13:30～16:00	◆輸入実践 1. 海外調達交渉で主導権を握る方法 2. 海外調達をする物品を選ぶ際の注意点 ・EPA(経済連携協定)や特恵関税を利用する ・輸入制限(輸入してはならない貨物)とは何か ・税関で確認する日本国内法令輸入規制を知る ・安定供給を目指す ・納期遅れの無い輸入販売体制を築く 3. 輸入演習 ◆新しい海外ビジネスモデルの構築 事例1. 代理店と販売店 ・現地代理店の特徴および業務遂行上の注意点 ・現地販売店の特徴および業務遂行上の注意点 事例2. 三国間取引 ・三国間取引における各当事者の視点 ◆海外販売先からの代金回収トラブル対処法 事例1. 代金回収の基本 ・不良債権の対応 事例2. 代金回収交渉 ・代金回収案の提示 ◆海外からの商品調達トラブル対処法 事例 輸入取引と品質・納期

講 師：(株)アールFTA研究所 代表取締役 麻野 良二 氏	
第1講座 9:30～12:00	◆はじめてのRCEP活用～海外展開企業にもたらずメリットとは～ 1. RCEPを含むEPA(経済連携協定)・FTA(自由貿易協定)について ・日本が締結しているEPA・FTA(CPTPP、日EU、RCEPなど)の状況と今後 ・EPA・FTA活用のメリット:関税削減→貿易コスト削減→競争力強化 ・EPA・FTA活用の条件:原産地規則への対応 ・EPA・FTAの活用事例と成功要因、失敗の原因 2. RCEPの効果的活用法 (1)RCEPの特徴と効果 ・特徴:世界最大規模の経済連携協定 ・効果:「累積」の有効活用と特恵関税対象商品の拡大 (2)日本の企業のRCEPへの期待度 ・輸入:円安下での輸入品コストの削減 ・輸出:EPA・FTA新市場としての中国、韓国マーケット (3)RCEP活用の留意点 ・関税引下げ対象品目の範囲、引下げ年数、積送基準 ・事後確認:輸入通関後の課題 (4)RCEPの効率的・効果的活用法 ・日本からの輸出、日本への輸入における最善策
第2講座 13:00～16:20	◆各種機関の海外事業支援策について 13:00～14:40(各25分) ・JETRO愛媛 ・JICA四国 ・日本政策金融公庫 ・商工組合中央金庫 休憩(10分程度) 14:50～(各25分) ・愛媛大学 ・中小企業基盤整備機構 ・えひめ産業振興財団

※上記カリキュラムの内容は状況によって一部変更の可能性がございます。予めご了承ください。